

平成25年度 奥出雲町肉用種牛 共進会開催

9月12日（木）、平成25年度奥出雲町肉用種牛共進会が仁多中央家畜集合所（亀嵩）において、町内の畜産関係者約200人が集まり、賑やかに開催されました。

当日は、町内9地区と農業公社から25頭の出品があり、県や関係機関の審査員によって個体審査、比較審査が行われました。

本共進会の上位7席までが、10月26日（土）に島根中央家畜市場（松江市宍道町）で開催される島根県種畜共進会に奥出雲町を代表して出品されます。

結果は次のとおりです。

		成績表										
団体賞	優勝	特選賞	特選賞	特選賞	特選賞	特選賞	特選賞	特選賞	順位	名号	出品者	支部
三成支部	らい9	ただふじ	ただひら	かつゆり3	ゆりひめ	ゆりふく	はるひめ	はるひめ	首席	はるひめ	勝田 律江	阿井
	石原 誠	原田 敦子	和泉 宏幸	佐藤 治巳	渡部 友義	宮崎 真行	勝田 律江	勝田 律江	2席	はるひめ	勝田 律江	阿井
	阿井	馬木	阿井	亀嵩	阿井	三成	阿井	阿井	3席	はるひめ	宮崎 真行	三成
									4席	はるひめ	渡部 友義	阿井
									5席	はるひめ	和泉 宏幸	阿井
									6席	はるひめ	原田 敦子	馬木
									7席	はるひめ	石原 誠	阿井



▲特選賞 首席「はるひめ」号



奥出雲で本場の作刀技術を学ぶ 第三十一回作刀技術実地研修会

九月二十四日から二十七日までの間、全国から十四名の刀匠研修生が鳥上地区にある日刀保たたらに集まり、作刀技術の実地研修を行いました。

研修に先立ち、たたら製鉄の操業を支援している日立金属安来製作所の佐坂克郎代表取締役は「モノづくりは、つくる喜び、感動、想像する楽しさがあり、今回の研修は忘れがたい貴重な体験になるはず」と研修生に言葉をかけました。

二十代から六十代まで幅広い年齢層となった研修生たちは、早速協力しながら作業に取り組みました。

三年間を二期とするこの研修会は、第一期目となる今年の「玉鋼の鍛錬」、来年の「火造り」、平成二十七年の「焼き入れ」と続きます。

J A雲南、共済連島根 カーブミラーを寄贈

秋の交通安全運動に合わせ、J A雲南と共済連島根からカーブミラー十二基を寄贈いただきました。

九月二十五日、J A雲南の赤名秋夫常務理事・小林勝吾仁多支店長が役場仁多庁舎を訪れ、人命保護と被害の軽減を願う趣意書と目録が井上町長に手渡されました。今後必要な個所に随時設置されます。寄贈いただき、ありがとうございます。



▲目録を手渡す赤名常務（右）

奥出雲の秋を あじわい尽くすMUSIC!

～R314奥出雲あじわいロード開催中～

国道三・四号沿いの店舗、企業が自分たちの手で町を元気にしようと十年前に始めたイベント「R314 奥出雲あじわいロード」。

今年も、加盟店が四十五店舗に増え、十月十二日からスタートしました。期間中は、各店舗がそれぞれ工夫を凝らしたおもてなしメニューや様々なサービスが展開されます。

また、あじわいロードに併せ、町民自ら考えた奥出雲町を体験するプログラム「奥出雲あじわい日和」（平成二十五年鳥取県・島根県広域連携協働事業）も連携して行われます。

鳥上地区



布勢地区



スポーツの秋 ～各地区で運動会～

三沢地区



三成地区



亀嵩地区



阿井地区



九月一日に鳥上地区、九月二十二日に布勢、三成、亀嵩、阿井、三沢地区で運動会があり、熱戦が繰り広げられました。

（八川地区は七月に開催され、横田、馬木地区は雨で中止でした。）



▲講演するピナードさん

詩人 アーサー・ピナードさん 言葉の本質を語る

アメリカで生まれ、日本語での詩作や絵本作家また翻訳家としても活躍している詩人のアーサー・ピナードさんによる講演会「ひとのあかし」が九月八日にカルチャープラザ仁多にて行われ、会場には町内外から約六十人が集まりました。

ピナードさんは「言葉はどこで作られて根っこはどこにあるのかが重要。たとえば、「和」という言葉は地域や家族など人との繋がりとという意味なのだが、今は日本式（和の）という意味で使われることが多く、時代と共に意味が変化している。よく見聞きし、物事の根本的な本質を見失わないでほしい」と話し、集まった人達も納得の様子で相槌を打ちながら講演を聴き入っていました。